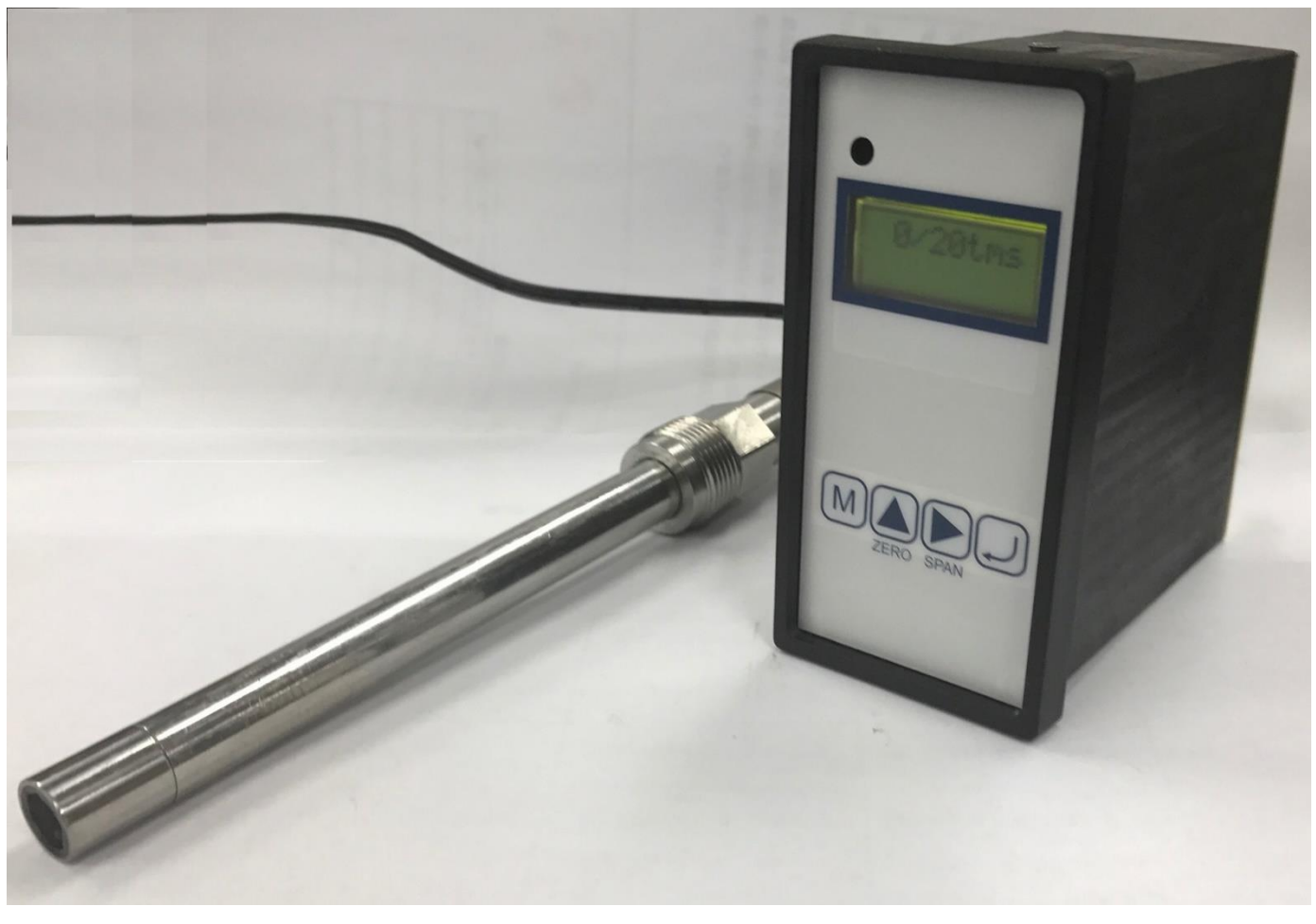
膜・電解液のない簡単メンテナンスの酸素濃度計

Automatic System Research Co.,Ltd.

蛍光式酸素計 FOM-1400



装置の組込みに最適なコンパクト設計

他社を凌駕する圧倒的なコストベネフィット

「蛍光式酸素濃度計」性能試験評価方法　JIS制定
JIS7921
（2016年12月20日公示）

当社の酸素計を使用して制定されました！

広がる
測定対象・環境

簡単な
取扱い

高圧蒸気滅菌
対応

FOM-1400の特長

・高圧蒸気滅菌対応の堅牢な構造

・頻繁なメンテナンスが不要

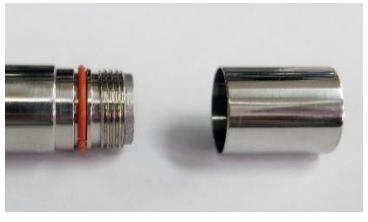
・プロセス中の電解液の劣化がない為、長期間の連続測定が可能

・流速不要の為、静止流体や少量サンプルの測定も可能

・真空環境下や海水などの測定も可能

・RoHS指令準拠の安全・衛生的なデザイン

・JIS7921「蛍光式酸素濃度計」の性能に準拠した確かな信頼性

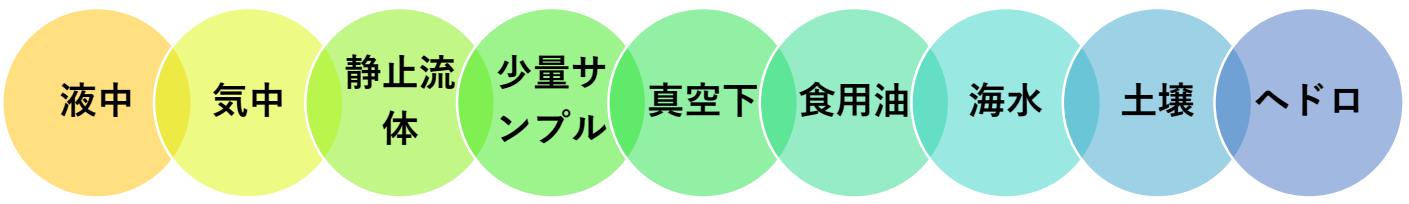


消耗品は交換頻度の少ないセンサーチップだけ。

（推奨：年1回交換）

センサープローブは投げ込み浸漬型の用意もあります。

幅広い測定対象・環境



バイオ、化学、環境など様々なシーンでの酸素濃度測定が可能です。

コスト比較ーインライン＆高圧蒸気滅菌対応型における比較

測定方式	FOM-1400 蛍光式	ポーラログラフ式	蛍光式 他社製
ランニングコスト-① ※高圧蒸気滅菌回数 20回/年 想定時	**安価** センサーチップ →推奨1年に1回交換 **￥20,000.-/年** ※上記は目安です。 使用環境により異なります。	高価 隔膜→蒸気滅菌3～4回で交換 電解液→毎回交換 **約￥66,000.-～/年** ※上記は目安です。 使用環境により異なります。	安価 センサーチップ →推奨1年に1回交換 **約￥44,000.-～ /年** ※上記は目安です。 使用環境により異なります。
イニシャルコスト-② ※センサー、ケーブル、変換器含む	**安価** **￥200,000.-～**	高価 **約￥420,000.-～** ※参考値	高価 **約￥690,000.-～** ※参考値
年間トータルコスト（①＋②）	**安価** **￥220,000.-～/年**	高価 **約￥486,000.-～/年** ※参考値	高価 **約￥734,000.-～/年** ※参考値

1台あたり年間 約￥226,000.-～￥514,000.- のコスト削減が可能です。

主な仕様

測定範囲	酸素分圧：0～30.0%／DO（溶存酸素）：0～10.00mｇ/Ｌ／飽和率：0～120.0%／温度：0～45°C
電源	ＡＣ１００Ｖ　０.３Ａ
伝送出力	0～4000mV　または　0～120mV
校正	ＺＥＲＯ：N_2ガス　または　０%水／ＳＰＡＮ：大気中　または　空気飽和水
応答速度	O_2：90%応答　120秒／DO（溶存酸素）：90%応答　180秒
再現性	F.S.±0.3%　以内　1気圧.25°Cの場合
材質	センサー：SUS316
使用環境	計器設置環境：5～45°C／センサー使用温度：5～45°C（蒸気滅菌：121°C 0.2MPa 1時間）／センサー耐圧：０～0.2MPa

株式会社オートマチックシステムリサーチ
TEL：048-956-7811／FAX：048-955-6734
E-mail：info@e-asr.co.jp